

# 海上でのトラブルシューティング

## 水上オートバイ

現象	内容	原因	処置
エンジンがかからない	スタータモーターは回る	燃料欠乏	燃料を給油する
		燃料フィルタの詰まり	フィルタを清掃 / 交換する
		燃料タンク内に負圧が掛かっている	タンクキャップを外し圧力を逃がす
		スパークプラグのかぶり	スロットルを全開にして再起動する (キャブレタ仕様の場合) スパークプラグを外して乾かす
	スタータモーターが回らない	スロットルレバーを握っている	スロットルレバーを開放する
		セキュリティシステムによってロックされている	キーによりロックを解除する
		緊急エンジン停止コードのロックプレート・キーが差込まれていない	ロックプレート・キーを正しく差込む 一度抜いてから再度取り付ける
		制御のロックが設定されている	制御を解除する
エンジンの回転が不安定	スパークプラグ	スパークプラグの汚損 / 磨耗	スパークプラグを清掃 / 交換する
		プラグキャップの緩み	プラグキャップの増し締めをする
スピードが出ない	スロットルの開度と回転数が連動しない	スロットルの不具合	スロットルコントロールケーブルの再調整をする (本格的な調整は専門業者に相談)
		燃料 / エンジンオイルに水が混入	燃料 / エンジンオイルから水を抜く
		給水口の詰まり	ゴミ等を除去する
		冷却系統の詰まり / エンジンオイルタイプ不適	専門業者に相談する
警告ランプが点灯(点滅)する	オーバーヒート	給水口の詰まり	ゴミ等を除去する
		冷却水ラインの破損 / 脱落	冷却水ラインを復旧する
船内に浸水している		ドレンプラグが開いている	ドレンプラグを閉める

※処置方法等についてはメーカー・モデルによって異なる場合があります。  
詳細についてはメーカーホームページ、取扱説明書等に確認して下さい。

## 海上でのトラブル防止のために

機関故障事故において多い故障箇所は、燃料系では燃料経路の詰まり、電気系ではセルモータ異常、軸系ではクラッチ、冷却水系では海水ポンプのインペラ損耗となっています。

発航前点検を実施するとともに、専門業者による定期的な整備を実施することで、一部の機関故障事故は未然に防ぐことができます。

